

第2編 基本構想

第1章 村の将来像

第2章 むらづくりの基本方針



第1章 村の将来像

少子・高齢化による過疎化の進行や共助の機能の低下、産業の担い手の高齢化や後継者不足など、社会・産業・地域の様々な場面で、より深刻な問題が生じてくることが懸念されています。

しかし、本村では、村に愛着や魅力を感じ都市部からUターンや転入された方々により、むらに新しい風が吹き込まれることでの好循環が生まれている動きがあります。このような近年の価値観の多様性をチャンスと捉え、「住みたい・住み続けたい」と思ってもらえる、誰にでもやさしいむらづくりを進めることが地域の根本的な課題の解決につながります。

第6次総合振興計画では、むらに住む人、むらで活動する人、行政のそれぞれがともに作り、つながり、支えあい、むら全体の課題を「わが事」と考え行動し、安心して暮らせる環境を整え、「幸せ」と「絆」を実感でき、それぞれの立場できらりと輝くことができるむらを目指します。

むらの将来像

奄美の自然・歴史・文化がきらめく 焼内湾を包む結いのこころでつながるむら うけん



■キャッチフレーズ

むらをつくっていくみんなが「理想の未来」に向かって行動するための合言葉は、

「**宇検村らしさ全開!**」です。

みんながそれぞれの夢や希望に向かっていろいろなことにチャレンジすることで、新しいむらづくりの仕組みが生まれて、むらが元気になっていきます。

自然がいっぱいでゆったりと暮らせること、活発な集落活動や住民の温かい人柄などの「宇検村らしさ」を生かしながら、みんなで「理想の未来」に向かって、力を合わせて新しい一歩を踏み出しましょう。

これからのむらづくりは、一人ひとりが自分らしく生きるために、できることから始める未来づくりです。あなたが何かを始めれば、きっと未来は楽しくなるはず。一緒に始めましょう!

わたしたちの行動は全国的に広がり、宇検村に興味をもち、応援してくれる人にもつながります!それが、みんなの住みたいふるさとの実現された姿です。

第2章 むらづくりの基本方針

基本方針1 きらりと光る稼げる産業を育てるむらづくり

【関連する分野】：農林水産業、商工業、観光など

きらりと光る稼げる宇検らしい稼げる産業を創出していくためには、村内企業の経営安定化、主に立地企業等との連携による新規事業展開や販路拡大、さらには、産学官連携等による地域資源を生かした新たな産業の創出等が求められます。

具体的には、産学官連携による医療・健康分野、環境・エネルギー関連分野といった本村の既存の枠組みにとらわれない次世代産業の育成と、本村基幹産業である農林業と水産業（養殖業）の競争力強化を図るための課題解決、さらには、市場獲得に向けた販路拡大推進、そのための海外を含めた優秀な人材の確保対策を行います。



基本方針2 快適な生活を支えるむらづくり

【関連する分野】：社会基盤、生活環境

人々の価値観の多様化などに伴い、快適で利便性の高い生活を享受し、ゆとりや豊かさを実感できるような生活の質の向上が求められています。

そのため、村内のどこに住んでいても、うるおいある住宅や公園が整備され、道路・交通があり安心して生活できる環境と、村民の生命と財産を守るための地域活動を身近に感じることができるむらづくりを目指します。



基本方針3 魅力あふれる「人と自然」が調和するむらづくり

【関連する分野】：自然環境、移住・定住、協働、コミュニティなど

本村には、先人が残してくれた貴重な財産としてかけがえのない豊かで多様な自然環境があります。また、どんなに時代が変わろうとも、大自然と人々の間で絶えることのなかった「結いの心」は、本村の歴史や文化とともに大切に受け継がれるべき財産です。

これらが、未来の人々に伝えられるとともに、村民生活と産業活動、自然環境が調和し、村民一人ひとりが輝くようなむらづくりを実現します。



基本方針4 健やかでぬくもりのある支えあいのむらづくり

【関連する分野】：保健、医療、福祉など

すべての村民が、生涯にわたって心身ともに健康な生活が送れるようにという、健康づくりに対する村民の意識は、年々高まっています。健やかでぬくもりのある支えあいのむらづくりのためには、福祉の心を育み、ぬくもりのある地域のつながりを大切に、誰もが地域で安心して暮らせるむらづくりを推進することが求められます。

そのためには、健康で元気な生活を支える健康づくり・介護予防を推進し、自立と豊かさをもたらす福祉の充実を図るとともに、安心して暮らせる医療・介護の充実を推進します。



基本方針5 ふるさを愛し、未来へはばたく心豊かでたくましい人を育むむらづくり

【関連する分野】：教育、スポーツ、歴史・文化、青少年育成など

ふるさを愛し、未来へはばたく心豊かでたくましい人を育むむらをつくるには、村民相互の連携・協力のもと、郷土の自然や歴史、文化、伝統的な行事など豊かな風土や結いの心など教育的なよさを十分に生かした教育を推進し、子どもたちだけでなく、村民それぞれが自己のライフスタイルに応じ、目的に沿って主体的に学ぶことができる生涯学習を推進していくことが求められています。

そのためには、幼児から大人まで人生の各段階における学びの内容や方法を充実させるとともに、学ぶ機会の拡充と場の提供を図るなど生涯学習推進体制づくりや環境、条件の整備に取り組むことが必要です。特に、子どもたちにおいては、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」をはぐくむ幼児教育・学校教育を推進するとともに、広く村民においては、生涯学習・生涯スポーツの推進、地域文化の振興を促します。



基本方針6 村民と共に、力強い自治をつくるむらづくり

【関連する分野】：行財政、広域連携など

参画と協働で力強い自治を実現するためには計画の推進体制の充実が必要となります。

このためには、今後も、事務事業の見直し、組織・機構の簡素効率化、外郭団体の統廃合等、民間委託の推進、広域行政の展開など行財政全般にわたる改革を、積極的かつ計画的に推進します。

そして、計画した事業を着実に推進するために、健全かつ計画的な財政運営を進める必要があります。経常経費の抑制や財源の確保などに努めなければなりません。

さらに、経済の発展や、交通網の充実、情報手段の発達などによる村民生活の広がりにより、従来からの県・市町村という行政区域を越えた人・物・情報の交流に対応する広域的なサービスの提供を図ります。



